

令和元年度全国学力・学習状況調査結果【中学校】について

境港市教育委員会事務局

本年4月18日に実施しました全国学力・学習状況調査の結果を分析し、全国・県の結果と合わせまして本市の状況をお知らせします。

ただし、本調査により測定できる学力は一部であり、総合的な学力を表すものではありません。学習状況調査を含めた分析の結果が、子どもたちのよりよい学びをめざす指針になればと考えております。

なお、本年度より、「知識」と「活用」を一体的に問う問題形式で実施しております。



教科の調査から ~国語・数学・英語~

【評価について】 A：全国平均との差が+3%を超える B：全国平均と同等から+3%まで
C：全国平均との差が-3%まで D：全国平均との差が-3%を下回る
※ 表およびグラフの数値は、すべて「平均正答率(%)」を表しています。

国語	境港市	県	全国	R1全国差	R1評価	国語A		国語B	
						H30全国差	H30評価	H30全国差	H30評価
全体	73	73	72.8	0.2	B	0.9	B	-0.2	C
話すこと・聞くこと	73.2	70.9	70.2	3.0	B	-1.5	C	-0.6	C
書くこと	82.4	82.7	82.6	-0.2	C	-1.6	C	-0.9	C
読むこと	70.0	71.5	72.2	-2.2	C	-0.6	C	-0.7	C
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	68.0	67.8	67.7	0.3	B	1.5	B	-0.3	C

国語【課題となる内容と成果】

・「読むこと」の領域については、「文章の構成や展開、表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えを持つこと」（全国比-5.4%）や「文章の展開に即して情報を整理し、内容を捉えること」（全国比-2.3%）に課題が見られました。

目的をもって文章を読み、必要な情報を過不足なく取り出すことやどのようにすればその情報にたどり着くことができるのかを検討する等の学習活動が有効と考えられます。

・「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」については、封筒の書き方を理解し、文字の大きさや配列等に注意して書くことに課題が見られました。（全国比-3.1%）手紙の基本的な形式をもとに丁寧に読みやすく書くようにすることや、相手の名前を他の文字より大きく書くこと等、手紙の形式に込められた相手への敬意についても考えることが大切です。

・「話すこと・聞くこと」については、全国平均を上回っており、改善傾向が見られます。特に、「話合いの話題や方向を捉えて自分の考えを持つこと」を見る設問で良好な結果が見られました。（全国比+5.4）

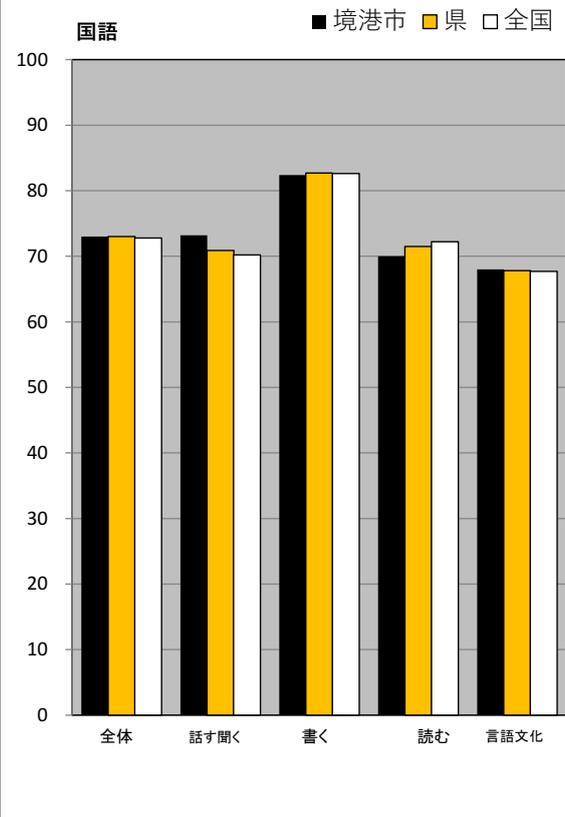
【生徒質問紙とのクロス集計より】

・「家で自分で計画を立てて勉強をしている」

「読書が好き」「新聞を読んでいる」

生徒の平均正答率が高くなっています。

また、外国語の学習でスピーチやプレゼンテーション等、まとまった内容を英語で発表する活動を行っている回答している生徒の平均正答率が高い傾向が伺えます。



数 学

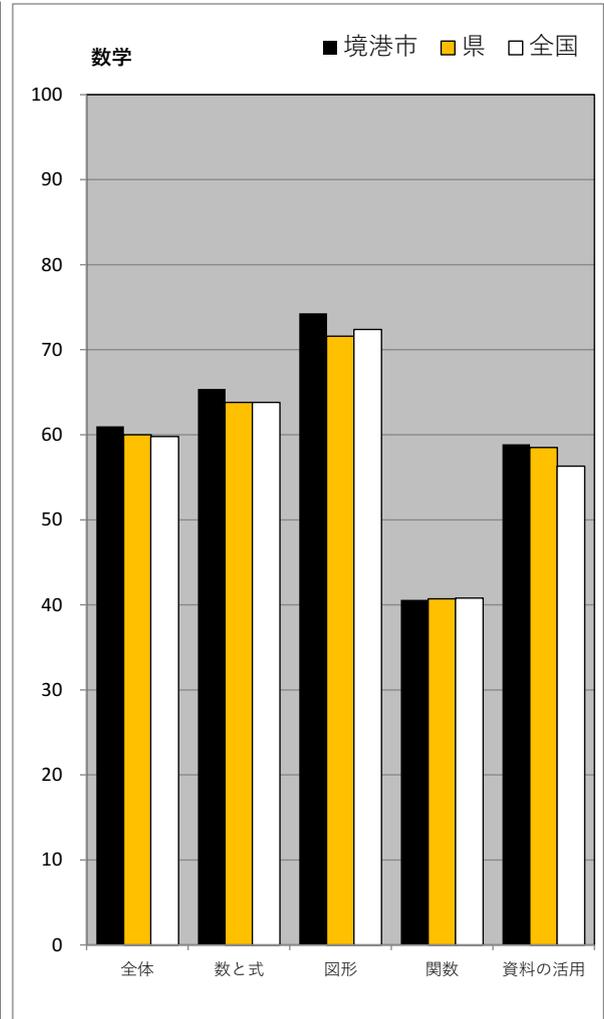
	境港市	県	全国	R1全国差	R1評価	数学A		数学B	
						H30全国差	H30評価	H30全国差	H30評価
全体	61	60	59.8	1.2	B	-4.1	D	-4.9	D
数と式	65.4	63.8	63.8	1.6	B	-7.0	D	-3.8	D
図形	74.3	71.6	72.4	1.9	B	-3.3	D	-4.6	D
関数	40.6	40.7	40.8	-0.2	C	-3.7	D	-5.9	D
資料の活用	58.9	58.5	56.3	2.6	B	-2.6	C	-3.9	D

数学【課題となる内容と成果】

- ・「数と式」「図形」「資料の活用」の3領域は全国平均を上回っています。
- ・「資料の活用」では、資料を整理した表から最頻値を読みとることができるかどうかを見る設問の正答率が全国と比較して良好でした。（全国比+5.7%）
- ・「数と式」では、式変形の目的を理解できているかどうかをみる設問の正答率が全国と比較して良好な結果でした。（全国比+5.8%）また、 a と b が正の整数のとき、四則計算の結果が正の整数になるとは限らないものを選ぶ設問で、整数という条件を考えず、 E の $a \div b$ を選んでいない解答が15.4%ありました。普段から条件に合う様々な数を代入して四則計算を行い、結果の特徴について考えることが大切です。
- ・「関数」では、2つの冷蔵庫の使用年数と総費用の関係から、総費用が等しくなる使用年数をどのように求めればよいか説明する設問で、問題解決の方法を数学的に説明することに課題が見られました。（全国比-2.0%）授業で、問題をどう解くのか構想や見通しを立て、問題解決の方法について説明する活動を大切に、立てた構想や見通しと問題解決の方法を比較し、方法の説明について吟味することで説明をより良いものにしていくことが大切です。

【生徒質問紙とのクロス集計より】

- ・「家で自分で計画を立てて勉強をしている」「授業で学んだことを、ほかの学習に生かしている」生徒の平均正答率が高い傾向が伺えます。また、総合的な学習の時間で「自分で課題を立てて情報を集め整理して調べたことを発表する等の学習」や国語で「目的に応じて、自分の考えを話したり書いたりする」と肯定的に回答している生徒の平均正答率が高い傾向が伺えます。



英語	境港市	県	全国	R1全国差	R1評価
	全体	54	54	56.0	-2.0
聞くこと	66	66	67.9	-1.9	C
話すこと(参考値)	28	-	30.7	-2.7	C
読むこと	55	55	55.6	-0.6	C
書くこと	43	43	45.8	-2.8	C

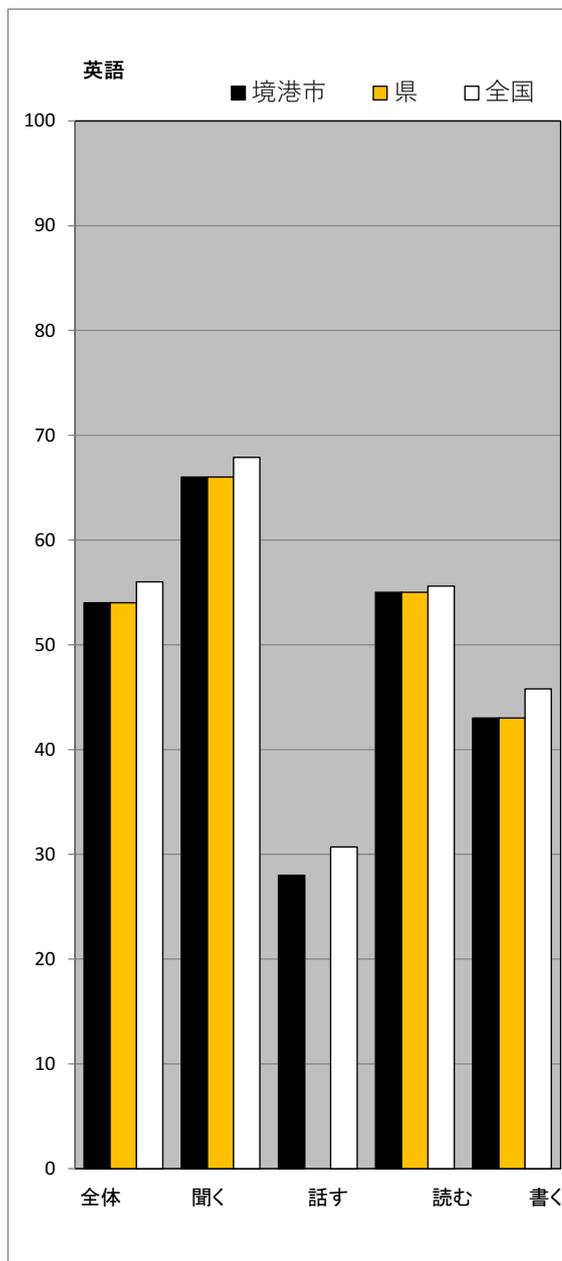


英語【課題となる内容と成果】

- ・「聞くこと」については、英語の指示を理解して、情報を正確に聞き取ることができたかどうかをみる設問に課題が見られました。複数の情報を一度に把握し、理解することに課題が見られました。(全国比-5.9%)
- ・日常的な話題についての会話情報を、正確に聞き取ることができています。日常的な内容は、日頃から英語の授業で自然な英語を聞く機会が多くあり、日常的な「聞くこと」を通して、理解する活動を繰り返し行っている成果といえます。(全国比+4.4%)
- ・「読むこと」については、まとまりのある文章を読んで、説明文の大切な部分を理解し、読んだ内容について適切に応じることに課題が見られました。(全国比-3.5%)
- ・英文全体の場面や背景をとらえ、適切な語彙を選択する設問の正答率は良好でした。(全国比+3.3%)
- ・「書くこと」については、語や文法事項等を正しく用いて、文を書くことに課題が見られました。主語選択の誤り、be動詞と一般動詞が混在しているもの、動詞の過去形のつづりに誤りがあるものが多く見られました。(全国比-6.8%)
- ・与えられた情報に基づいて、他者を紹介する文を正確に書くことについて課題が見られました。(全国比-5.0%)
- ・語や文法事項を正しく理解して、適切な接続詞を選択する設問の正答率は良好でした。(全国比+3.9%)
- ・「話すこと」については、絵を見て、何をしているか描写することについて課題が見られました。基本的な文法事項(現在進行形)を理解して、応答する必要があります。(全国比-6.6%)
- ・相手の発話や内容を踏まえてそれに関連した質問や意見を述べたり、会話を継続させたりしていくことに課題が見られました。日頃から継続的にやりとりをする機会を増やし、即興で伝え合う場面を設定することが重要です。(全国比-7.6%)
- ・バスで登校する少年の絵を見て、交通手段を答える正答率は良好でした。適切に強勢を置いて、交通手段に関する基本的な表現を理解して、応答することができます。(全国比+8.0%)

【生徒質問紙とのクロス集計より】

- ・「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか」「概要や要点をとらえる活動が行われていますか」という質問に肯定的に回答している生徒の割合が全国を上回っており、平均正答率も高くなっています。





【本市で十分に満足いく結果のもの】（90%以上が肯定的な回答）

- ◎朝食を毎日食べる （95.2%）
- ◎毎日、同じくらいの時刻に起きている （93.4%）
- ◎ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある （94.9%）
- ◎学校の規則を守っている （97.4%）
- ◎いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う （97.8%）
- ◎人の役に立つ人間になりたい （94.1%）
- ◎学校の部活動に参加している （95.6%）
- ◎国語の勉強は大切だと思う （90.5%）



【全国より上回っている『満足いく』結果のもの（肯定的な回答の全国比較）】

- 毎日、同じくらいの時刻に寝ている 85.3%（全国比+7.3%）
- 先生は、あなたのよいところを認めてくれている 88.2%（全国比+6.7%）
- 学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めている 79.8%（全国比+8.2%）
- 学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいる 76.1%（全国比+10.5%）
- 学校の部活動に参加している 95.6%（全国比+9.0%）
- 国語の勉強が好き 66.9%（全国比+5.2%）
- 国語の授業では、目的に応じて、自分の考えを話したり、書いたりしている 85.6%（全国比+8.2%）
- 数学の勉強は好き 64.4%（全国比+6.5%）
- 数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ 81.2%（全国比+5.0%）
- 新聞を読んでいる 18.4%（全国比+5.7%）
- 今住んでいる地域の行事に参加している 56.6%（全国比+6.0%）



【全国より下回る等、課題がある結果のもの】

- △家で自分で計画を立てて勉強をしている 44.1%（全国比-6.3%）
- △授業で学んだことを、ほかの学習に生かしている 71.7%（全国比-3.2%）
- △英語の勉強は大切だ 82.0%（全国比-3.4%）
- △外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたいと思う 56.6%（全国比-5.8%）
- △英語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ 79.4%（全国比-6.0%）



成果

- 昨年同様に、多くの生徒が規則正しい時刻に起床し、朝食をきちんととることができています。今後も生活習慣の改善に向けたキャンペーン等の活動を、学校と家庭とが連携しながら継続していくことが必要です。
- 多くの生徒が学校生活の中できまりを守って生活しており、「いじめはどんなことがあってもいけないことだ」という規範意識を持って生活できています。昨年よりも1.4ポイント高い結果となっています。
- 「自分には良いところがある」、「ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある」、「人の役に立てる人間になりたい」と肯定的に回答する生徒の割合が多く、自己肯定感の高まりにつながっていると考えられます。今後も、学校生活の中で生徒が達成感を感じたり、様々な活動で成功体験をしたりすることがさらなる自己肯定感の高まりにつながると考えます。
- 「学校に行くのが楽しい」と肯定的に回答する生徒の割合が全国と比較して高く、「学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めている」生徒や「学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいる」生徒の割合が全国と比較して高く、良好な関係の中で協働的に学校生活を送っていることが伺えます。



課題

- △家庭学習においては、学校の宿題に取り組むだけでなく、自主的に課題を見つけ、解決に向けて主体的に取り組む姿勢が大切です。学校は具体的で、効果のある課題を提示することと同時に、ご家庭の支えも必要です。学校と家庭とが協力し合いながら、生徒の主体的な学ぶ力を育てていくことが大切です。
- △全国平均と比較して、英語学習に対する動機がやや低い傾向にあります。また、外国の人とコミュニケーションをとろうとする意欲も低い傾向にあります。未知のことや異文化に触れることは、自身の国際感覚を磨き、自分を見つめ直して新たな自分を発見する絶好の機会でもあります。生徒一人一人の学習改善や学習意欲の向上につながるような取組の工夫が必要です。